



元気とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 平成28年12月12日 第798号「週刊五十嵐レポート」

インターン生は見た！

最近、インターネット上の情報をテーマ別にまとめる「キュレーションサイト」が問題になっています。ディー・エヌ・エー(D社)が記者会見しました。不適切な内容の記事や著作権の侵害に該当する記事などの散見する可能性があるため、運営する10サイト全てを公開中止にしました。「成長を優先し、管理や運営の体制構築ができていなかった」。「会社自体の信頼性が揺らいでいる」。

大学3年生がD社の100%子会社にインターン生として仕事を始めました。仕事の内容はファッションの記事を書くこと。主に大学キャンパスライフにおけるファッションの情報を記事にすることでしたが、ネット上にあるブログなどから引用することも含まれていました。大学生は、問題はないのかと懸念を感じましたが、社内のルールは曖昧でした。

そのとき、前述の事件が起きました。会社側はインターン生に対して、真実を言わず、何か隠しているような物言いでした。学生は、違和感を感じ、インターンを辞めることを告げました。インターン生の採用を決める面談者は先輩インターン生。会社のトップや社員が面談をしていませんでした。インターン生とは名ばかりのアルバイト。人材の育成ではなくて、人手でした。40人ほどのインターン生が記事の収集をしているだけで社員はいません。大学生は、会社の体をなしていない、部活やサークルの延長のように感じました。

リアルな本は、情報の精度を高めるために、ウラをとったり、参考文献を確かめ、誤字脱字のチェックするなど編集者や校閲を担当する人がいます。D社の記者会見では、「記事の審査など制作に費用をかけた場合、事業が成り立たないかもしれない」。実際はノーチェックだったということ。

ここで学ぶことは、情報のあり方と組織のあり方。情報の発信には責任があるということ。安易な行動をとってはいけません。肝に銘じます。組織として意思伝達の仕方にも我が身を振り返る必要があります。

大学生は、逆に運がいいと思い、変な会社に長居せず、健全な会社にインターン生として仕事をします。

ちょっと
気になる出来事

「キュレーション」...主にインターネット上のさまざまな情報を各自の視点によって「集め」、「抜き出して(分類整理などして)」、「展示すること」をキュレーション。キュレーション機能を提供または支援をキュレーションサービスという。(現代用語の基礎知識2017より)

これは人海戦術が必要です。資金と人。強者の戦略です。強者の同士の戦い。ディー・エヌ・エーでもまだ赤字。有価証券報告書では来年末に黒字化予想をしていました。

ちなみに「五十嵐レポート」は取材して、統計を調べ、なんのかわけで数時間がかかります。1週間に1回だけだからやれますが、毎日ではできません。仕事になりません。考えてみれば、五十嵐レポートでは食べません。但し、五十嵐レポートがあるから生きられているのも事実です。

情報の発信のあり方を問われています。ネットは怖い。



一口メモ
知識

サービス企業のマーケティング戦略

【差別化するための経営】

価格競争が激しくなると、サービス企業のマーケティングは、自社サービスを競合他社と差別化するのは難しいとこぼす。顧客がどの企業のサービスも似たり寄ったりだと思っている限りは、誰がサービスを提供しているかというよりも価格を重視しがちである。

価格競争から抜け出す方法は、サービス内容とイメージの差別化を行なうことである。サービス企業は、内容を差別化するために革新的な特徴を付加できる。

【サービスの質を高める経営】

差別化する主な方法の1つは、常に競合他社よりも優れたサービスを提供することである。その鍵は、顧客の期待通りかそれを上回るサービスを提供することである。

フィリップ・コトラー、ゲイリー・アームストロング「新版 マーケティング原理」より

●「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日 午前10時～12時

●「戦略社長塾東京」小岩校 毎週水曜日 午前10時～12時

●「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 i-daruma@igarashireport.com

